

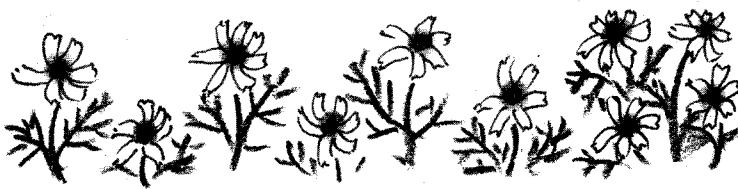
卷頭言

子どもの心を受け止める

武田京子

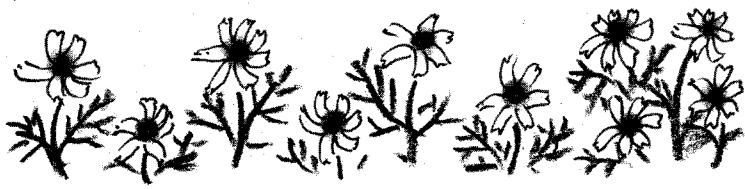
私が現在深くかかわりをもつ幼稚園では、「心身共にたくましく、心豊かな子ども」という教育目標を掲げ、二年ないし三年の保育期間の中で遊びを通して、子ども自身のもつている「その子らしさ」を生かし、自ら伸びようとする力を引き出すよう努力をしています。特に教師や友達と過ごす集団生活の中で、人と共にある世界を楽しむ生活を開拓することを心掛け、全職員が子どもに向き合うばかりでなく、「保育参加」という形態で、保護者にも保育に入つてもらっています。そして、人的環境の多様化・充実に努め、さまざまな人との出会いの中で子どもたちは園生活の心のよりどころを見つけ、遊びやそのほかの園生活を繰り広げていきます。

人的環境と同様に大切にしているのが自然環境です。大都市から見れば、



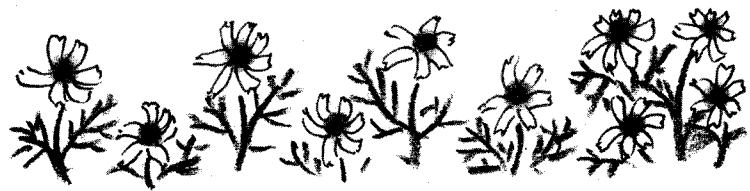
高層建築の少ない場所ですが、文教地区で、交通も比較的便利なところという観点から、マンションなども建てられるようになつてきました。しかし、園舎の北西から南を廻るよう、サワラ・トウヒ・ユリの木・ソメイヨシノなどの見上げるような樹木が、外界とは違つた空間をつくり出しています。昭和四十七年、江戸時代の近江商人の別荘「偕喜莊」跡地に園舎が建てられた時、庭園をそのまま生かしたため、当時の植栽が残されました。園舎のテラスからすぐの園庭の南側には、砂場・滑り台・ジャングルジム・アスレチックコンビネーションなどの今風の固定遊具が設置されています。入園したばかりの子どもたちはそこで遊ぶことが多いのですが、園生活に慣れ、自分のイメージが膨らみ始めてきた子どもたちは、冒険ごっこや、探検ごっこに園庭の隅っこを大いに活用しています。全体を損なわないように配慮して、遊びの広がりを目的に、土管を設置し、池の上にはウッドテラス、森のキッチンと名付けられた場所には水道が引かれ、年長組はここで本物の切れる包丁を使つたおままごとをすることができます。

しかし、子どもたちの心を大きく引き付けるのは、樹齢四百年と推定される、六メートルは優にあるイチイの木です。外側から見ると地表すれすれまで枝が垂れ、細かい緑の葉に覆われています。背をかがめて木の下に潜り込



むと、大人でも立てるほどの空間があり、時を経て伸び絡み合う枝や幹が、子どもたちの木登りをたやすくしてくれます。大人の背丈ほどの枝には丈夫なロープがかけられ、ブランコとして使えるようになっています。ここで、子どもたちは木登りの練習をし、ターザンや忍者としての修行をしています。足をかけるのに都合のよい枝の樹皮はむけて、白くツルツルになり、子どもたちの遊び相手を長くしてくれたことを物語っています。

幼稚園の子どもたちは一人残らず、イチイの木に登ったり、腰掛けたりした経験があるといつても過言ではないと思います。卒園の文集の中にも「イチイの木のなかでブランコしたのがたのしかった」「イチイの木のてっぺんまでのぼれるようになつてうれしかつた。したにいたKくんに『おーい』とこえをかけたらすぐくびつくりしたのでおもしろかつた」「イチイの木のてっぺんからおをだしたら、まわりのはっぱがざらざらしていた」などと思いつ出がつづられています。また、卒園した子どもたちが幼稚園を訪れた時、必ず、園庭の奥へ走っていき、枝の下をそつとくぐり、葉っぱ越しに空を見上げたりしています。しなやかな枝に自分の体を委ねたこと、何度も繰り返し挑戦して、ようやくてっぺんまで登れた喜び、友達と共にイメージをもつて、恐竜ごっこや探検ごっこをしたことなど、いろいろな思いをイチ



イの木は受け止めてくれたのでしょう。

親の温かい腕から離れて、初めて経験する集団生活の場が幼稚園です。先生がいて友達もいて、安心して遊びが展開していきます。子どもの生活の中で安心するよりどころは、人ばかりではありません。動物やぬいぐるみやおもちゃなども、そのよりどころになる場合もあるでしょう。イチイの木は、四十年以上も幼稚園の子どもたちの心のよりどころになつてきました。

「今、幼児教育は本当に大切だと思う。この土地は、地価からいえば相当高いものかもしれないが、幼児教育に使うということだから、国が出される金額でお譲りしましよう。この土地を高く売つて変なものが建つよりも、安く買つてもらつても幼児教育に役立つてもらえば、本当の価値を生むと思うから……」と破格の値段で土地を譲ってくれたM氏の子どもに対する理解の深さと、庭園の樹木を大切に守つてきた歴代の教職員の気持ちが、樹木とイチイの木を通して現在まで続いていることがわかります。

これからも、真剣に私たちを見つめる子どものまなざしをしっかりと受け止めばかりでなく、さまざまな形で、それぞれの子どもたちの心を受け止める大人であります。